

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2023年5月2日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
滋賀県愛知郡「愛荘町愛知川1608

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
有限会社 竹平楼 代表取締役 西村 正司

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
事業者行動計画を策定(変更)し、
事業者行動報告書を作成した

したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	有限会社 竹平楼 代表取締役 西村 正司
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	滋賀県愛知郡愛荘町愛知川1608

1 事業者の概要

事業所の名称	有限会社 竹平楼						
事業所の所在地	滋賀県愛知郡愛荘町愛知川1608						
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	7	6	2	1	※ 産業分類・細分類名称を記載 日本料理店	
事業の概要	日本料理の提供						
従業員の数	8	人	作業時間	10	時間/日		
該当する事業者の要件	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者						
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者						
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者						
主要な設備	ボイラ	1	台	熱源設備	0	台	
	照明設備	18	台	コンプレッサ	0	台	
			空気調和設備	9	台	その他	0

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	令和元	年度	報告対象年度	令和4	年度
	終了年度	令和4	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

当社、有限会社 竹平楼は、飲食に係るすべての事業活動の基軸に環境への配慮をおき、全社員に環境に対する意識を徹底し、持続化可能な低炭素社会の実現に貢献してまいります。

1. 事業活動を通じて、環境負荷を最小限にする仕事の仕組みをつくり、環境保全と汚染の予防に取り組めます。

①省エネ基準をクリアした高効率のエアコンを導入省エネ化に努めます。
②高効率な料理器具の導入により、省エネ化に努めます。
③エネルギー使用の効率低下を防止するため、定期的に設備を点検・整備し、適切に保守管理を行います。

④電気、ガス等の無駄をなくし、適正な使用に努め、社員にも周知、徹底します。

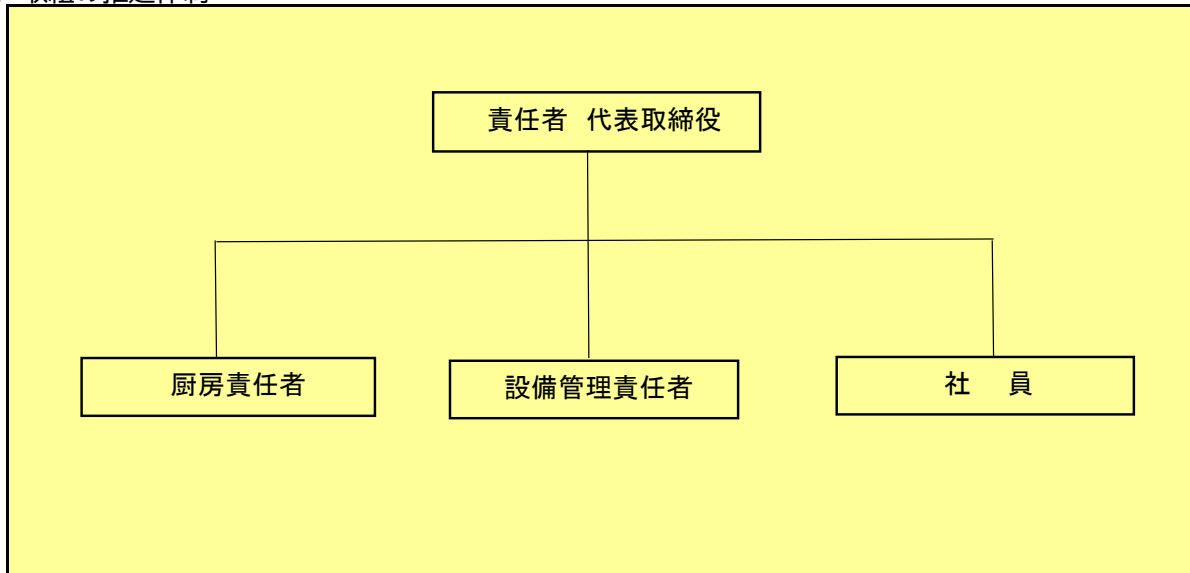
⑤廃棄物の削減に取り組めます。

2. 環境保全に関連する法規制を遵守します。

3. 全従業員に対する環境教育の推進を実施します。

4. 上記の方針を広く公開し、適切な情報提供に努めます。

2 取組の推進体制

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

当社は、これまで低炭素社会づくりに係る下記の取組を行ってきました。

○送迎バスの運行により当店への来客の自動車利用を抑制しております。

○事務所の冷暖房時の室温は、夏28℃、冬19℃に設定しております。

○敷地内の庭園整備により、緑化を行ってきました。

○照明は、40W直管は、2014年5月より、LED化しています。

○空調の点灯等については、設備管理責任者が、責任をもって実施、不要な照明点灯がないよう努めています。

○平成16年11月より太陽光発電装置を屋根に設置して環境に配慮しています。

○自家用車は、電気自動車を導入してCO₂の削減に努めています。

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	庭園のバラストレス水銀灯やレフランプを同等のLED器具へ更新することで消費電力を削減します。	令和2年度	令和2年度に実施済。
2	設備導入	店舗内、厨房等の蛍光灯設備をLED設備へ更新し、消費電力を削減します。	令和2年度	令和2年度に実施済。
3	設備導入	厨房内、客間のエアコンを省エネ性能の高い設備へ更新します。	令和2年度	令和2年度に実施済。
4	設備導入	南側の客席は開口部から直達日射が入射しており、大きな冷房負荷に繋がっているため、ハニカムスクリーンを設置し、空調不可の低減に繋がります。	令和4年度	令和4年度に実施済。
5	設備導入	従業員に対する環境教育の推進を実施します。	令和2年度～	令和2年度から実施継続中。

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>・温室効果ガス総排出量の削減目標を5%の削減を目標とする。</p>	<p>従業員に対する環境教育は、令和元年から継続的に実施しており、節電等の実施など、効果は表れている。省エネ設備導入補助金を活用し、エアコン、室外機を更新したことにより、電気使用量は減っている。ただ、令和2年からは、新型コロナウイルス感染症の影響により、来店客が激減、店舗の稼働率自体が低くなっている。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
		(令和元)年度	(令和2)年度	(令和3)年度	(令和4)年度	
原油換算エネルギー使用量	kL					
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	47	41	9	21	23
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	47	41	9	21	23
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂					
CH ₄	t-CO ₂					
N ₂ O	t-CO ₂					
HFCs	t-CO ₂					
PFCs	t-CO ₂					
SF ₆	t-CO ₂					
NF ₃	t-CO ₂					
エネルギー等原単位の推移						

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						